

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0201	政策名	環境の保全	施策主管課	生活環境課	課長名	松原 弘明
政策の目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り暮らしています						
施策No	02	施策名	自然環境の保全	関係課名	大迫総合支所地域振興課		
施策の目指す姿	自然への理解を深め、自然を保護する活動を行っています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・高山植物の保護など早池峰山地域における自然環境を守る必要があります。 ・早池峰国定公園の利用環境の向上のため、携帯トイレの利用促進が図られていますが、登山者からはバイオトイレ整備を求める声があります。 ・急激に増殖しているニホンジカによる高山植物等の食害が懸念されています。 ・早池峰山の河原の坊登山道は、平成28年5月に発生した山腹崩壊により閉鎖措置が続いていることから、登山者の安全確保が必要です。 ・特定外来生物の生息域の拡大により、在来種の衰退などの生態系への影響が懸念されています。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・早池峰国定公園地域における自然環境を守るため、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。 ・環境マイスターや市内の自然保護活動団体との意見交換会でいただいた意見を参考に、市内に生息する希少な動植物を保護していくための啓発方法を検討する。 ・特定外来生物の駆除について市広報・ホームページを活用しさらなる周知に努め、生態系の保全を図る。 ・市民の関心が高い、ニーズに応じた環境学習講座となるよう内容の充実を図る。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・早池峰国定公園の関係機関や自然公園保護管理員による登山道の整備、高山植物盗採防止パトロールの実施のほか、登山者に対する携帯トイレの使用などの登山マナーの呼びかけを行い、自然環境の保全に努めた。 ・市内に生息する動植物を紹介する啓発用リーフレットを令和2年度末までに作成することとし、案を作成した。 ・市広報紙やホームページを通じ特定外来生物の駆除について周知した。 ・講座の企画に当たり、前年の参加者アンケートを参考にテーマを決定した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)自然保護の推進
<ul style="list-style-type: none"> 早池峰山等の自然環境保護と利用環境の向上 早池峰国定公園地域における自然公園保護管理員の設置や花巻市、遠野市、宮古市等で構成する早池峰国定公園地域協議会への支援を実施 ニホンジカ食害の防止対策 関係機関、関係団体、学識経験者で構成する早池峰地域保全対策事業推進協議会シカ対策部会で調査情報収集の実施や防鹿柵設置の支援 水質の定期観測 河川の水質環境を良好に維持するため、定期的な観測を実施 希少生物等の保護への支援、啓発 ゼニタナゴの生息環境保全活動への支援 特定外来生物の駆除に関する啓発 環境学習などを通じた環境保全意識の啓発 環境マイスター派遣制度による環境学習支援 環境学習講座、水生生物調査の実施や環境学習チャレンジブック配布による環境教育の推進

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合	市民がどれだけの割合で自然環境を守る活動に関わったかを示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは次のような自然環境を守る行動を行ってありますか？ いくつでもあてはまるものをしてください。 (1)身近な水辺空間の環境保全(2)野鳥や生き物が住める環境づくり(3)自然環境を守るための学習活動(4)植樹などの森林の保護活動(5)住んでいる地域の美化活動(6)その他(具体例)(7)何もしていません	%	目標値		69.00	71.00	73.00		
				実績値		73.40	71.80	72.50		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合」・・・【達成度b】 実際に行動した人の割合が7項目中3項目で減少したが、住んでいる地域の清掃や美化活動を行った人の割合は増加しており、また、何も行っていない人の割合は減少していることから、継続した啓発の効果は表れていると考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(環境学習推進事業)市民の環境保全に対する意識の高揚をさらに図るため、環境学習推進事業における環境マイスター派遣事業や環境学習講座を継続するとともに、内容の充実と機会を捉えた周知に努める必要がある。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・早池峰国定公園地域においては、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動により自然環境の保全が図られているが、引き続き登山者のマナーの向上について意識啓発を図る必要がある。 ・早池峰山登山者の安全確保のため登山道の整備と老朽化した山頂避難小屋の整備、小田越登山口へ自然環境に配慮したバイオトイレの整備が必要である。 ・環境マイスター制度を知らない市民が多いことから、機会を捉えた周知が必要である。 ・環境学習講座への参加を促すため、内容の充実を図る必要がある。 ・市民の自然環境保護に対する意識を高めるため、市内に生息する動植物について知ってもらうことが必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・早池峰国定公園地域における自然環境を守るため、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。 ・早池峰国定公園を管理する岩手県へ登山道の整備や老朽化した山頂避難小屋の整備、小田越登山口へ自然環境に配慮したバイオトイレの整備について引き続き要望する。 ・環境マイスター派遣制度の周知について、広報紙やホームページのほか、講座開催や文書発送時などの機会を捉えた周知に努める。 ・講座の企画に当たっては、関心のあるテーマや開催日時等について、参加者アンケートの結果を踏まえた内容となるよう努める。 ・市内に生息する動植物を紹介する啓発用リーフレットを、令和2年度中に作成する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
			直結度		
010	環境学習推進事業費 ゼニタナゴの生育環境を保全するため、保護活動団体が行う保全活動を支援	生活環境	一致	直結	C
				A	
011	環境学習推進事業費 環境マイスター派遣制度による環境学習支援のほか、環境学習講座や水生生物調査を実施 (環境マイスター派遣回数21回、環境学習講座の開催6回、水生生物調査の実施12回)	生活環境課	間接・少数	直結	C
				B	
020	河原の坊施設管理事業費 河原の坊総合休憩所、早池峰山山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘の維持管理	大支(市民)	間接・少数	直結	-
				B	
030	早池峰自然環境保全活動推進事業費 早池峰国定公園地域の自然環境保全のため、自然公園保護管理員を配置(4人) 早池峰国定公園地域協議会の実施する入山式、高山植物盗採防止パトロール(8人)などへの支援	大支(市民)	間接・少数	直結	-
				B	
040	公害防止対策事業 市内の河川水質の定期観測を実施 (37地点 147回)	生活環境課	一致	直結	B
				A	
050	特定外来生物駆除啓発事業(ゼロ予算) アレチウリ、オオハンゴンソウ、セアカゴケグモ等の特定外来生物の駆除について市広報紙及びホームページで啓発	生活環境課	一致	直結	-
				A	